

ピンチです、
消防団員が減っています。



消防団とは

消防団は、その地域に住んでいる人、働いている人によって構成される消防機関の一つで、団員は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛と使命感のもと、住民の生命、身体および財産を守るために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団は火災や災害発生時に出動し、消火、救助活動、避難誘導といった活動に従事します。平時には災害に備えるため、消防署と連携した消火訓練や救命訓練を行うほか、火災予防や防災意識向上のための広報活動などを行っており、消防団は町の安全と安心を守る「地域防災の要」として重要な役割を果たしています。



消防団が
いなくなってしまうと？

消防団は地域の火災発生時に迅速に出動する役割を担っています。人数が減ると、出動できる隊員が不足し、初期消火が遅れる可能性があります。特に、プロの消防署が遠い地域では、消防団の出動が遅れると火災が大規模化しやすくなります。

1 火災対応

- ・火災発生時の初期消火活動
- ・消防署との連携による消火支援
- ・放水訓練や機材の点検・整備

2 防災活動

- ・災害時の避難誘導、救助活動
- ・洪水や土砂災害の警戒、対応
- ・災害発生時の地域支援（物資配布など）

3 住民への啓発

- ・火災予防の広報、啓発活動（防火週間など）
- ・避難訓練や救命講習の実施
- ・区との協力による防災指導



消防団

地域での
役割

4 地域行事の安全確保

- ・祭り、花火大会、イベント時の防火警備
- ・交通整理や警備支援

5 団員の訓練・育成

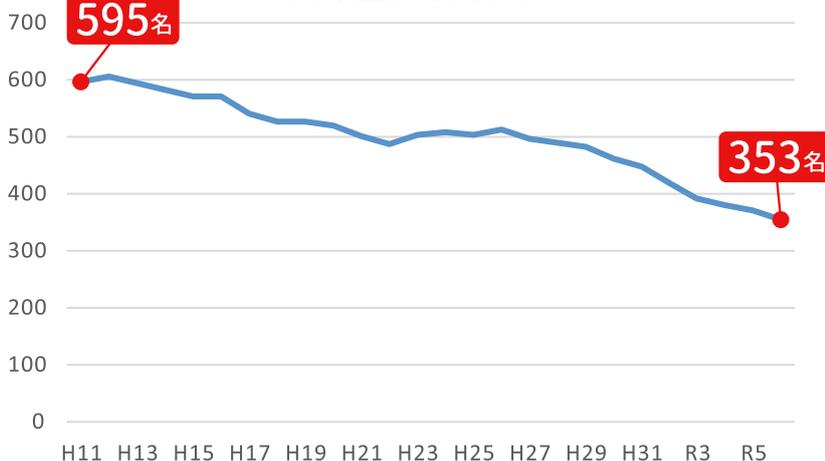
- ・定期的な消防技術訓練
- ・若手団員の育成と指導
- ・消防設備の維持、管理

6 その他の地域貢献

- ・高齢者、障がい者宅の防火点検
- ・地域防災計画の策定への協力



消防団員数推移



総務省消防庁の「令和6年版消防白書」によると、全国の消防団員数は、前年に比べ約16,000人減少し、年々減少傾向にあります。

近年、火災だけでなく地震や台風、豪雨といった災害の多様化により、地域に密着した消防団の力がより一層必要とされるなか、本町でも団員数が減少してきており、団員確保が大きな課題となっています。

甲佐町の条例定数 400名

年間行事 (令和6年度・おもに団員が活動する行事のみ記載)

4月	新入団規律訓練・団員辞令交付式	本部・部長・新入団員
5月	緑川水防演習	本部・部長
11月	防火パレード	本部、年長児保護者団員
	非常呼集	全団員
	普通救命講習	新入団員+希望者
12月	防火啓発パレード	部長以上
	年末夜間警戒(夜警)	全団員
3月	甲佐町出初式・消防点検	全団員



地域の防災訓練風景



甲佐町消防団組織図



入団後の待遇について

町から活動に対して年額報酬や 出動手当が支払われます。
一定期間勤務し退団した場合には 退職報償金が支給されます。

入団資格について

年齢 18 歳以上の方で、
甲佐町にお住まいの方、
甲佐町で働いている方なら
どなたでも入団できます。

甲佐町役場 総務課
(甲佐町消防団)
096-234-1167



団員インタビュー

甲佐町消防団 副団長

堀田 高志さん



火災が発生した際には消防士が消火活動を行いますが、消防士だけでは足りません。初期消火が重要な火災現場において、消防団は消防署と連携して消火活動を行います。地域事情にも詳しく、現場への到着が早い消防団がいることで迅速な初動対応が可能です。また、消防団活動を行っていくなかで自身の防災意識も向上し、さまざまな知識、経験を得ることができ、自分や大切な人を守ることに繋がります。

本町でも団員減少が課題となっていますが、これからも消防行事や訓練の負担軽減と効率化を図りつつ、これまで以上に団員の能力向上にも努めていきます。

入団を迷っている方もいるかと思いますが、自分ができる範囲、時間で活動できますので、みなさんにぜひ仲間になっていただきたいと思っています。一緒にこの町を守っていきましょう。

団員インタビュー

第1分団 (岩下一区)

中村 嘉希さん



消防団に入ったきっかけは、地域の先輩たちが入団していて楽しそうだったことと、消防活動の姿を見てカッコいい、と思ったことです。これまでの消防活動の中では、出初式での操法大会の練習が印象に残っています。練習のおかげで実際の火災現場での消火活動に生かすことができました。それに、訓練の後に、みんなで飲むお酒は楽しいです。

火災や人探しなどの活動は大変ですが、地域の人たちが喜んでくれた時は嬉しいです。これからも、後輩団員に消防活動を厳しく優しく教えながら、地域活動や防災活動を通じて町民の皆さまを守っていきたく思います。

団員インタビュー

第2分団 (浅井区)

北畑 孝太郎さん



入団のきっかけは、父が消防団で活動していたこともあり、地域貢献になるなら、と思い自分も入りました。災害が起こったときには避難を呼びかけたり、地域の土砂の片付けをしたりと、大変なこともあります。大切な命を守るための貴重な経験ができています。

消防団に入ってから普段の生活ではあまり接する機会がなかった地元の人や、地域のみなさんとの交流も多くなり、知り合いが増えたことは自分の財産だと思います。これからもつながりを大事にしながら消防活動を頑張っていきたいです。



第4分団
(船津区)
野仲 希望さん

団員インタビュー

自分は令和6年4月に消防団に入団しました。今は活動しながら、機器の操作方法や点検方法を先輩に習ったり、救命講習に参加して人命救助のやり方を学んでいます。

実際の火災で出動した際には、緊迫した現場に不安もありましたが、先輩団員の指導のおかげで何とか消火活動に取り組むことができました。まだまだ知らないことも多いですが、これからもしっかりと訓練を重ね、防災に関する知識を身につけ、育ってきた地元へ貢献できるよう、努めていきます。



第3分団
(北早川区)
墓田 健人さん

団員インタビュー

自分は地元就職だったたので、何か地域に貢献できることはないかと思い入団しました。消防団では普段、いざという時に備えて訓練や機器点検などを定期的に行っています。

最初は毎月何日も活動があるかと思っていましたが、全然そんなことは無く、仕事や趣味との両立も問題なくできています。また、活動をするなかでさまざまな経験ができるため、消防団は自分自身を成長させてくれる素晴らしい組織です。仲間との絆や地域への貢献が感じられるため、ぜひみなさんもその一員になってほしいと思います。



堀 敏朗さん
(大町区)

住民からの声

日頃から町の安全のために尽力されている消防団の皆さまには感謝しております。火災や災害時の出動、予防広報などの命を守る活動や地域行事への協力まで、私たち町民のために活動していただき、ありがたく思っています。これからも、地域にとってなくてはならない、頼りになる存在として活躍していただきたいと思えます。



女性消防団
(吉田区)
内村 圭美さん

団員インタビュー

地域の防災訓練に参加したときに、消防団のみなさんが消火栓やホースを使っての消火指導をされているのを見てかっこいいな、と思っていました。それに、父が交通指導員をやっている姿を見て、自分も地域に貢献できることがないかと考えていたときに女性団員を募集されているのを知って、入団を希望しました。

これからは消防団の一員として、防災に関する広報・啓発活動などを通じて地域の高齢者の方たちに安心していただけるよう頑張っていきたいです。幼年消防団があると聞いたので、子どもたちと一緒にそういう活動ができればいいな、と思います。地域を守る女性消防団として、一緒に活動する仲間が増えるのを待っています。

**あなたのチカラが必要です！
女性消防団員も募集中です！！**

甲佐町役場 総務課
(甲佐町消防団) 096-234-1167

